

真駒内地区新設義務教育学校検討委員会ニュース

真駒内地区の真駒内桜山小学校と真駒内中学校は、真駒内桜山小学校の敷地に新たに校舎を整備し、令和9年4月に義務教育学校として新しく生まれ変わる予定です。

真駒内地区に新しく開校する 義務教育学校の校名案を検討しています

令和9年4月に開校を予定している（仮称）真駒内地区新設義務教育学校について、どのような学校が望ましいのかを検討するにあたり、地域代表、保護者代表、教職員などで構成された真駒内地区新設義務教育学校検討委員会（会長 真駒内地区連合会横堀道子会長）を令和5年12月に立ち上げ、検討を進めています。

現在、検討委員会では新しい義務教育学校の校名案を検討しています。

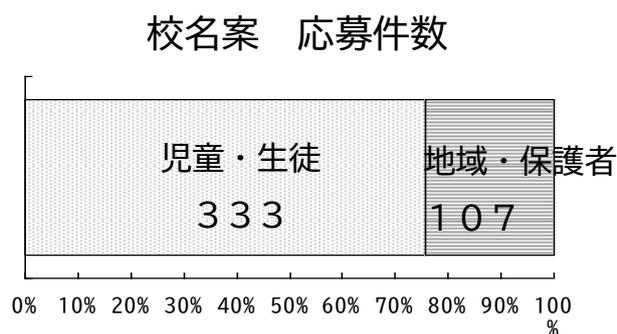
委員紹介（敬称略）

会長	横堀 道子	真駒内地区連合会 会長	地域関係
委員	日下部 有紀	真駒内まちづくりセンター所長	P T A 関係
	山岸 光生	真駒内中学校評議員	
	佐々木 美代子	真駒内中学校評議員	
	佐藤 隆子	真駒内中学校評議員	
	丸岩 浩二	真駒内桜山小学校評議員	
	山本 さゆり	真駒内桜山小学校評議員（真駒内五輪児童館館長）	
	渡部 正子	真駒内桜山小学校評議員	
	亀崎 陽二郎	泉町三丁目自治会 会長	
	小林 美恵子	真駒内泉町道管住宅H団地自治会 会長	
	表山 尚史	真駒内南町二丁目自治会 会長代理	
	杉本 和道	真駒内中学校P T A会長	
宮原 亮	真駒内桜山小学校P T A会長		
委員	太田 大輔	真駒内中学校 校長	学校関係
	長尾 美保子	真駒内中学校 教頭	
	西尾 美紀	真駒内桜山小学校 校長	
	山本 尚枝	真駒内桜山小学校 教頭	
	岩村 鋭介	駒岡小学校 校長	
引地 秀美	北海道教育大学アドバイザー	アドバイザー	

校名案募集結果

真駒内桜山小学校・駒岡小学校・真駒内中学校の児童・生徒とその保護者、真駒内地域に在住・勤務している方、その他各校の卒業生等、地域に関わりの深かった方に対して校名案の募集を行った結果、440件の応募をいただきました（応募のあった校名案は4Pをご覧ください）。

なお、札幌市では義務教育学校の校名は「札幌市立義務教育学校〇〇学園」とすることとしており、〇〇の部分の募集を行いました。



※ 募集期間は、令和6年7月24日から令和6年8月30日まで。

※ 児童生徒、保護者に対しては、各小中学校経由、地域に在住・勤務、その他地域に関わりの深かった方に対しては、真駒内まちづくりセンター及び小中学校経由で応募用紙の配布・回収を行った。



このたびの取組を通じて、皆様からお寄せいただきました校名案とその理由の一つ一つに込められた「新しい学校への願い」や「子どもたちに対する優しく温かいまなざし」、そして「真駒内地域への愛情」をひしひしと感じました。今後も、皆様の思いを大切にしながら、真駒内地区に新設される義務教育学校の開校に向けた取組を、しっかりと進めてまいります。ありがとうございました。

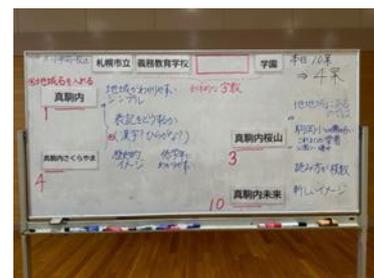
(真駒内地区新設義務教育学校検討委員会事務局)

たくさんのご応募 ありがとうございました

検討内容

第4回検討委員会（令和6年10月7日開催）では、校名案の募集結果を踏まえ検討を行いました。

委員会では、各検討委員が望ましいと考える校名案を述べ合い、その後、更にそれらについての意見交換を行っていくことによって、校名案の絞り込みを行いました。



真駒内地区新設義務教育学校 校名案選定基準

校名案の選定にあたっては、真駒内地区新設義務教育学校検討委員会において、以下の基準に沿って理由が明確な校名案を複数選定することとし、最終的には委員の協議により1つを選定する。なお、応募数の多少は校名の選定に影響しないこととする。

【基本方針】

- ・「札幌市立義務教育学校〇〇学園」の〇〇の部分を選定する
- ・児童生徒、保護者、地域住民に親しみやすく、広く受け入れられやすいこと
- ・真駒内地区の自然環境や地理的イメージがわかりやすいこと
- ・漢字、平仮名またはカタカナにより表記され、あて字、一般的な読み方ができない、読み方が何通りもできる校名でないこと
- ・他市等に類似の校名がなく、誤解されることがない校名であること

応募のあった校名案・検討委員会で選考した有力候補案 （「札幌市立義務教育学校〇〇学園」の〇〇部分）

検討委員会で選考した有力候補案

真駒内 真駒内桜山 真駒内さくらやま 真駒内未来

その他の応募校名案

【児童生徒】

桜真駒内、まこさく、自然教育、桜市立、住宅街、緑、緑山、自然、やる気、泉町、なかよし、南町、みんなともだち、ハート、なないろ、みんながんばれ、真駒内なかよし、真駒内みんななかよし、虹色、毎日元気、ともだちたくさん、チューリップ、真駒内札幌教育、真駒内なかよしがんばれ、さくら、お花、さくまこ、さま元気、南桜山、真駒内さくら、札幌真駒内、桜岡、桜真駒内、駒岡、勉強学院、さくらんぼ、青少年、楽しい桜小、札幌、真駒内ひまわり、ひまわり、ハッピー、咲くま、スーパー、学び、緑の森、未来、青空、えむ、はなさく、みずなら、まこまなまない、南学園、桜山第二、きらきら、だいそう、挨拶、桜村、みんなの、こざくらまこまない、桜山緑、札幌緑、みどりや、大空、総合、SDGsは大切、空山、花暗、真駒内青空、にこにこ、湖、桜ヶ丘、桜っ子、笑顔、真駒内南小中学校、生物共存、黎明、未来明、桜花爛漫、未来、夢桜、蝦夷、桜山小中一貫、野真笑、紅桜、南、真駒内南、風の子、大山桜、南桜、楽しむ、真桜、楽しい桜山、小中、桜花、高等、闘魂、太陽、スーパーハイレベル、なんかすごい、まなみ、エコ、緑栄、一貫、花筏、桜花、桜駒、桜輝、桜人、桜緑、新星、真駒内未来、第一、帝桜、北真、友情、緑国、緑南、櫻山、真桜、山桜、緑桜

【地域・保護者】

つなぐ真駒内、まこすた、駒桜、新真駒内、真駒内泉、真駒内緑、真駒内大志、真駒内緑栄、真駒内五輪、真駒内緑豊、真駒内南、エドウィン、真駒内桜華、雄渾、札幌、真駒内緑が丘、けやき、桜岡、桜開、真駒内虹うお、晴風、桜蘭、真駒内桜の杜、光桜、ジュブナイル、ウエカリレ、真駒内光南、豊真、エドウィン・ダン、真駒内泉、さまみ、豊桜

注) 漢字と平仮名2つの表記があった校名案については、紙面の都合により、漢字に統一して掲載

校名案について、委員からの主な意見

- 「真駒内」は地域にとっても非常に愛着がある地名。これからも大切に、残していきたい。
- 「真駒内」は位置も特定でき、シンプルでわかりやすくよい。
- 真駒内地区はオリンピックや真駒内駐屯地での雪まつり開催などで全国的知名度がある。その「真駒内」が入ることにより、真駒内地区の歴史的イメージも感じられ、親しみやすいと言える。
- 「真駒内」、「桜山」という地名は、住民に親しみやすく、広く受け入れられやすい。
- 一番大事にしたいのは、小学校と中学校がこれから一緒になり、児童・生徒、教職員、保護者が協力し合い、協調し合うというその思い。「真駒内桜山」は桜山小学校と真駒内中学校が一つになり、協力・協調していくという思いが校名に込められている。
- 選定基準で応募数の多少は校名の選定に影響しないとあるが、応募数を集計すると、「真駒内」、「桜山」に対する愛着が強いということが分かった。「真駒内桜山」は郷土愛を育み、子どもたちの夢や希望を育む義務教育学校の校名としてふさわしいと考える。
- 「真駒内桜山」は桜山小学校のイメージが強くなるが駒岡小学校に配慮するとどうなのかと思う。
- 「真駒内桜山」には、真駒内桜山小学校、真駒内中学校の現校名のほか、駒岡小学校の「駒」の字も入っており、桜山小学校、真駒内中学校と一緒に、駒岡小学校を卒業した児童が入る学校名として配慮したものと言える。
- 自身の経験から、学校名が長くなることで、例えば入試のときに学校名を記載する時間を取られ、また、枠内に収めることに難儀することがあった。したがって、「真駒内桜山」にすると字数が長くなるのが気になった。字数が多くなったときに、受験などで子どもたちにとって不利になるということはないのだろうか。

- 真駒内地域は広いため、「真駒内」に加え、この校区が特定できる「桜山」を冠したほうがよい。
- 若い世代を中心に名称を略する流れがある。「真駒内桜山」が「まこさく」、「真駒内未来」が「まこみら」と言ったように。「真駒内未来」はワクワク感が感じられよいと感じた。また、「真駒内未来」は響きがよい。
- 全国的を見ても平仮名表記の自治体名もあるが、漢字文化は残していきたいと思う。漢字で伝わるイメージがある。これからも大切にしていきたい。
- 自分の周りにも聞いてみたところ表記は漢字がよいとの意見が圧倒的であった。自分の住んでいるまちなので、低学年のうちには漢字で書けなかったとしても、みんなで漢字を覚えていくといった校風であってほしいし、書けるようになる子どもに育ててほしい。
- 今の真駒内中学校、桜山小学校は漢字表記であり、漢字の方が落ち着いた印象を受ける。
- 平仮名表記は中学生にとって抵抗があるのではないか。
- 義務教育学校には低学年もいることから、平仮名表記がいいのではないか。
- 校名案を考えた理由を全て読んだが、特に子どもたちの想いにとても感動した。
- 児童生徒からもたくさん応募があったのに感激した。子どもたちにとっても校名決定プロセスに関わったという経験にもなる。
- 子どもたち、地域・保護者からたくさんのお応募があり、また校名案を考えた理由を一つ一つ読み、住民として非常に嬉しく感じた。検討委員としての責任の重みを感じるとともに、このように関わるができることを大変幸せで、ありがたいことだと感じている。子どもや地域に愛される校名を選定したいという思いが一層強まった。

今後の予定

第5回検討委員会（令和6年10月28日開催予定）では、今回絞り込んだ校名案を中心に、更に検討を行う予定です。

発行：札幌市教育委員会学校教育推進課（学びのプロジェクト担当）

〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目15 STV北2条ビル3階

TEL：011-211-3851／FAX：011-211-3852

e-mail：manabinoproject@city.sapporo.jp

真駒内地区新設義務教育学校検討委員会事務局

（札幌市立真駒内中学校内）

〒005-001 札幌市南区真駒内幸町3丁目1-1

TEL：011-581-0172（8：15～16：45）／FAX：011-581-7829



02-S02-24-2164
R6-2-1430

当ニュースは、札幌市公式ホームページにも掲載しています

<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/gimugakko/makomanai.html>

**SAPP
RO**